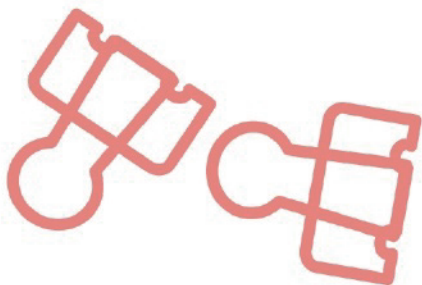


「学習の3段階理論」を身に着けよう
「理解」・「定着」・「応用」
一生役に立つ効果の上がる学習方法

2022年5月31日(火)
13時30分～15時
講堂

学校法人有朋学園
有朋高等学院 理事長 林明夫
(開倫塾塾長)



Q 1 : はじめに一言どうぞ。

- A : (1) 「学習の3段階理論」とは、「学習を『理解』・『定着』・『応用』の3段階に分け、効果の上がる学習方法を具体的に示したもの」です。
- (2) 小学校・中学校・高校はもちろん、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で学ぶときや、学校を卒業後に社会に出て仕事や社会的活動をするとき、充実した人生を送るときにも役立つ学習方法です。
- (3) 「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と考えます。
- (4) 「学習の3段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。そして、「多様な選択肢のある人生」を歩み、「正常に機能する社会の形成に貢献」しましょう。

Q 2 : 第1段階の「理解」とは何ですか。

- A : (1) 「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること、納得すること、腑(ふ)に落ちること」です。

＜「授業中」の「理解」の方法とは、＞

- ①授業中は、手を机の上に置き、先生目と口元を見て、熱心に授業を聞くこと。
- ②先生の指示に従い、積極的に授業に参加すること。
- ③大切なことは、すべてノートにメモを取ること。

- (2) 「復習」とは、「授業で学んだことを、その日のうちに、もう一度やり直すこと」です。

＜「授業後」の「復習」での「理解」の方法とは、＞

- ①教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを、一語一語、もう一度読み直すこと。
 - ②計算や問題は、もう一度解き直すこと。
 - ③意味のよくわからない語句や内容は、辞書や用語集、教科書、参考書で調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- * 「授業前の短い時間」にも、それまでに習ったことを「復習」し、授業に臨みましょう。

- (3) 「ノート整理」とは、ノートをあとで学習しやすいように、整理しながら理解を深めることです。

- ①「ノート」は、あとで学びやすいように「ノート整理」に励みながら、「理解」を深めましょう。
- ②大切な語句や内容には、「マーク(印)」をつけること。定規を用いて線などで囲むこと。
- ③あとで調べたことは、ノートの余白に書き足すこと。余白がなければ、ポストイットや別の紙に書き足して、ノートに貼り付けること。

※ノートは英語で notebook といいます。いろいろ工夫し、書き加えながらその教材一生使える My Notebook を作り上げましょう。

(4) 「予習」とは、「授業の内容を予め自分の力で学習すること」です。

＜「予習」での「理解」の方法とは、＞

- ① 意味のよくわからない語句や内容があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、教科書、参考書でよく調べること。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- ② 計算や問題は、自分の力で、「ノート」に解いてみること。
- ③ 「よくわからないところをはっきりさせてから、授業に臨む」ことが、「予習」の目的です。

(5) おすすめ

- ① 「予習」の段階でも、「定着のための3大練習」（「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」）に励み、しっかり身に着け（定着）しましょう。
- ② 「授業直前の短い時間」にも、その日の学習範囲をしっかり予習し、授業に臨みましょう。

Q 3 : 第2段階の「定着」とは何ですか。

A : 「定着」とは、「うんなるほどと、よく『理解』できたことを確実に身に着けること」です。それには、「定着のための3大練習」が効果的です。

＜「定着のための3大練習」とは＞

(1) 「音読練習」…「スラスラとよく読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む練習をすること」。

*何も見ないでスラスラと言えるまでにする「暗誦(あんしょう)」を目指しましょう。

(2) 「書き取り練習」…「楷書(かいしょ、教科書の書体)で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、繰り返し、書く練習をすること」。

*暗誦した内容を何も見ないで書けるまでにする「暗記」を目指しましょう。

(3) 「計算・問題練習」…「なぜそのような答えになるのかがよく『理解』できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射で正解が出てくるまで、繰り返し同じ計算や問題を解く練習をすること」。

*パッパッパッと条件反射で正解が出るまで、練習しましょう。

『定着のための3大練習』は、『不可能を可能』にする

Q 4 : 第 3 段階の「応用」とは何ですか。

A : 「応用」とは、「理解」「定着」した内容を用いて、

- ①「学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100 点満点)』が取れること」
- ②「入学試験や国家試験、資格試験などで、『合格点』が取れること」
- ③「社会で活用できること」です。

(1) 学校の定期試験などのテストで、全教科『よい点数(100 点満点)』を取る方法とは、

- ①「定着のための 3 大練習」をやり抜くこと。
- ②出題範囲について「スミからスミまで覚える」こと。
- ③テストの 1～2 か月以上前から、全教科準備をすること。

(2) 入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』を取る方法とは、

- ①過去に出題された問題(過去問)を 5～10 年分、5～6 回解くこと。
- ②間違えた問題は、「間違いノート」を作成すること。
- ③大切な問題は徹底研究し、「まとめノート」を作成すること。

* 一度解いた問題は学校の教科書と同様「予習」「復習」十分「理解」、「定着のための 3 大練習」をし、スミからスミまですべて定着させること。

(3) 「社会で活用する力」を身に着ける方法とは、

- ①学校で勉強するすべての教科の内容は、上級学校や社会ですべて役立ちます。一生役立ちます。
- ②ですから、学校で用いた教科書や教材、ノートは、学校を卒業後も絶対に処分しないこと。
- ③学校の授業や学生時代の勉強を思い出し、社会に出てからも一生かけて、繰り返し学び直すこと。

* 一番役立つのは、学校時代の教科書、教材

* 図書館の活用 !!



Q 5 : 「学習方法」と同時に大切なことは何ですか。

A : (1) 「自覚」をもって学習すること。

*特に受験生は「自分は受験生だ」という受験生としての「自覚」をもち、受験勉強に励むこと。

(2) 「読解力」を身に着けること。

① 「辞書」を用いて「ことばの数」「語彙(ごい)数」を増やすこと。〈ことばは力〉です。

*調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、いつも1ページ目、1枚目から読み直し、すべて覚えましょう。

*1日10回国語辞典、1日10回英和(英英辞典)を引きましょう。

② 「新聞」を毎日30分以上読み、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けること。

*興味のある記事は、切り取って「スクラップブック」に貼り付け、意見・感想・コメントを書いて、繰り返し読み直しましょう。

③ 「読書」を毎日行い、「思慮深さ」「省察力」を身に着けること。

*大切な語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、折に触れて1ページ目から読み直しましょう。

(3) ハードな「長時間自己学習」も時には大事

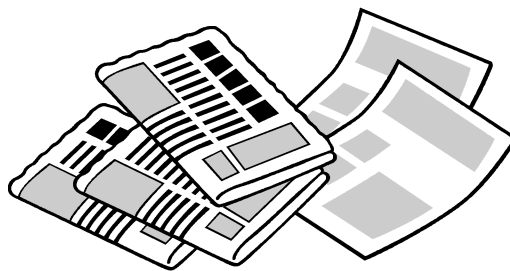
① 「1日8時間主義」(学校の授業がある日)

② 「1日12時間主義」(学校の授業がない日)

③ こまかな時間をうまく利用し、学習時間を確保する



「学習効果」 = 「本人の自覚」 × 「学習方法」 × 「読解力」 × 「学習時間」



Q 6 : 学習方法を工夫すると成果は出ますか。

A : (1) 「学習の3段階理論」を参考に学習方法を工夫すると、短期間でも、必ず一定の成果が出ます。

(2) しかし、やり通すには、「主体的に学ぶ力」と、かなりハードな「長時間自己学習」が求められます。「学習の3段階理論」を活用して、自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。

(3) はい。「主体的に学ぶ力」が身に着くと、

- ① 「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます。
- ② 「正常に機能する社会の形成」に貢献することができます。
- ③ 自分の未来は、自分で切り開く。あきらめたらおしまいです。がんばりましょう。

〈ここでちょっと一休み、コーヒーブレイクNo.1〉

今までのお話の中で参考になることがありますか。あったら3つ書いてください。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____

Q 7 : ところで、好きなことばはありますか。あったら紹介してください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「一所懸命」…一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む (足利高校)

(4) 「スポーツの3つの宝」 (小泉信三)

「練習は不可能を可能にする」

「フェアプレイ…いやしいプレイはしない」

「よき友」

(5) 「法律を学んだ者(法学徒)はいつも最悪の事態を想定して行動すること」

(法思想史の先生)

(6) 「注意一秒、ケガ一生」 (ゼミの先生)



(7) 「積小為大(せきしょうだい)」…小さいことを積み上げ、大きなことを為す(二宮尊徳)

(8) 「高い志」(経済同友会)

(9) 「持続する志」(大江健三郎)

(10) 「朋(とも)有り、遠方より来る、またたのしからずや」(論語)

(11) 「目には遠いが心は近い」(インドのことわざ)

(12) 「歴史における個人の役割」(プレハーノフ)

(13) 「本当の月を見たことがあるか、本当の自分を見たことがあるか」(京都一燈園、石川洋)

(14) 「会った人は皆友達」(同上)

(15) 「^{りけん}離^{けん}見の見」…舞台上で舞っている自分を観客席に座っている自分が見る(世阿弥)

(16) 「人生は青天井、一生青天井」

(17) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」(ドラッカー)

(18) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを)

(19) 「健康第一、心の健康、身体の健康」



＜ここでちょっと一休み、コーヒーブレイクNo.2＞

皆様の好きなことばは何ですか。あったら3つ書いてみてください。

なければ、今紹介したことばの中で気に入ったことばを3つ書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

Q 8 : 学生時代に読んだ本の中や、最近読んだ本の中でお勧めの本はありますか。あったら紹介してください。本の読み方もご紹介ください。

A : (1)あります。たくさんあります。

①夏目漱石の作品「坊ちゃん」「三四郎」「それから」

*夏目漱石の友人、正岡子規の作品も

②志賀直哉「暗夜行路」

③芥川龍之介

④ヘルマン・ヘッセ「車輪の下」

⑤シェイクスピア「ベニスの商人」「オセロ」「ハムレット」「シンベリン」

⑥ヘミングウェイ「武器よさらば」

⑦四書「論語」「孟子」「大学」「中庸」。「老子」「荘子」も



(2)①一人の作家の作品が気に入ったら、同じ作家の作品をどんどん読んでいく。

②登場人物の関係図を作りながら読む。

③「作者との時空を超えた対話」の仕方

*〈自分の本なら〉横線やアンダーラインを引く

* どんどん書き込み

*気に入った本は何回も読み直す(本は6回読む)



(3)これぞという本は、「ノート」を取りながら読む。

①1回目は、線を引いたりメモしたり、さらには、本の余白に要点をまとめる。

②2回目は、「ノート」にまとめる(書き写す)。

③3回目は、内容を確認しながら読む(精読)。これぞという本は6回読む。

＜ここでちょっと一休み、コーヒブレイクNo.3＞

今までに読んだことのある本で好きな本は何ですか。好きな作家は誰ですか。

3つあるいは3人書いてください。

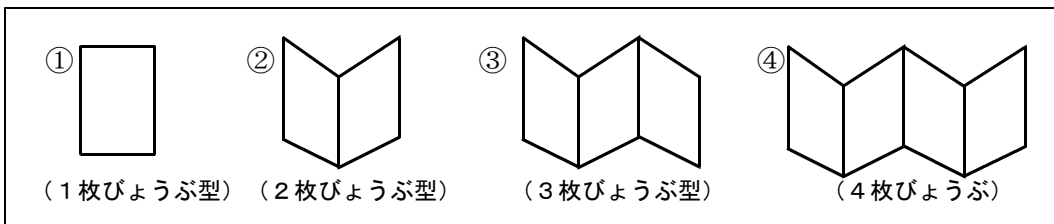
(1) _____

(2) _____

(3) _____

Q 9 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 人生は長い。「びょうぶ型人生」…やりたいことを一つだけでなく、いくつかやってみる



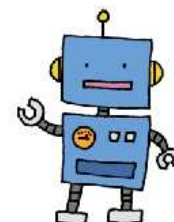
- ① 1つ目のことをコツコツ積み上げる…「1枚びょうぶ型人生」
- ② 2つ目のことをコツコツ積み上げる…「2枚びょうぶ型人生」
- ③ 3つ目のことをコツコツ積み上げる…「3枚びょうぶ型人生」
- ④ 4つ目のことをコツコツ積み上げる…「4枚びょうぶ型人生」

(2) 今高校で学んでいる教科などの中で、最も興味があることがあったら思い切ってとことん勉強してみることに。

- ① 1つの教科、1つの分野の特定分野に的を絞って勉強する。
- ② 高校の内容が難しかったら、小学校・中学校から遡(さかのぼ)って学び直す。
- ③ もっとレベルを上げたければ、大学・大学院レベルまで学んでみる。
* 「放送大学」を利用することも一手。

(3) これから求められるのは「高度プロフェッショナル人材」。

- ① 「半導体」「蓄電池」などの技術者
* レゴ、ミニ四駆、電子工作(ライトレースカー、ラズベリーパイ、ハンダ付けロボット)
- ② 職業訓練学校・大学への進学も大事な選択肢
- ③ 社会に出てからも何回もの「学び直し」が求められます。
* エンジニアは「技術士」を目指そう



<ここでちょっと一休み、コーヒーブレイクNo.4>

皆様が今興味をもっていること、将来やりたいことは何ですか。

あったら3つ書いてみてください。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____

感謝

ご清聴を感謝します。

質問や意見があればどんどんお述べください。